海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 警察当局が発表した2019年度第4四半期(2020年1月～3月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は37,395件であり、前年度の第4四半期と比較して19.2%の減となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	123件(前年比28.9%減)
強盗	541件(同17.1%増)
強姦	119件(同9.2%減)
未成年への性的暴行	359件(同22.3%減)
麻薬関係	132件(同18.0%減)
暴行	13,689件(同10.0%減)
窃盗	12,207件(同14.7%減)
恐喝	3,738件(同37.4%減)
詐欺	3,093件(同37.2%減)
器物破損	2,359件(同19.0%減)
傷害	790件(同35.5%減)
不法侵入	245件(同22.2%減)
合計	37,395件(同19.2%減)

2019年度第3四半期の報告と比較し、全体的に犯罪件数が減少しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比19.2%減という結果となりました。2016年度第4四半期より継続して犯罪件数が増加していましたが、新型コロナウイルスの発生などもあり、大幅に減少したとみられます。しかし、今年12月には大統領選挙を控え、治安状況が悪化する可能性も否定できませんので、皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策並びに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

・2月13日深夜、ウェスタン州の邦人住居において窃盗被害が発生しました。住居は平屋の7世帯が入っている一角で、リビングの窓の約10cm四方の金網(モスキート・ネット付き)を切り、ルーバー式の窓ガラス1枚を外されて、窓から約1メートル離れたテーブルの上に置いていたバッグを盗まれました。被害項目は現金約300セディ、携帯電話、電子書籍の3点。ルーバー式の窓は就寝時間中、未施錠でした。なお、被害者は寝室で寝ており犯行に気がつかず人的被害はありませんでした。

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

・1月18日夜間、アクラ市カントンメンツ地区において、一軒家タイプのコンパウンドへ鉈を持った2人組の強盗が侵入する事案が報告されています。強盗の内1名はバルコニーで見張りをし、もう一人が寝室へ侵入、住人を鉈で切りつけ婦人のバックを盗み逃走しました。

・1月21日午後8時15分頃、アクラ市カントンメンツ地区のジファーロードのカントメンツ側交差点において、信号待ちをしていたUNHCRに所属するフランス人ボランティアの車両に、4人組のガーナ人(2人はバイク)が近づき車両の扉を開けようと試みましたが、ドアにはロックがされていたため侵入を断念し逃走しました。被害者に怪我はありませんでした。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上